

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.33》2015年11月1日発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

10月7日に、大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」が策定・公表されたのを受けて、10月26日には、今後3年間の海外施策の羅針盤となる「大分県海外戦略2015-2018」を策定・公表しました。県産品の輸出促進や海外ネットワークの活用、海外誘客の推進、留学生等の活用、国際人材の育成等に、関係者が一体となって取り組んでまいります。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



大分県の海外関連施策について



商工労働部
産業集積推進室
室長

森山 成夫
(Naruo MORIYAMA)

【連絡先(Mail)】
a14230@pref.oita.lg.jp

当室では、県が重点産業に位置付けている半導体や医療機器産業による海外展開を積極的に支援しています。

半導体関連産業では、大分県LSIクラスター形成推進会議を母体として成長著しい台湾や中国等の企業団体とビジネス交流を進めてきており、今年度もセミコン台湾等の展示商談会を活用した販路開拓を行っています。

医療機器産業では、日本の優れた人工透析システムのASEANへの普及を図り、県内で生産される医療機器の販路拡大につなげるため、産学官が連携してタイを中心に医療技術者等に対する指導研修を行っています。また、サイバーダイン(株)大分ロボケアセンター(別府市)でのロボットスーツHALを用いた歩行トレーニングと温泉などを組み合わせた「HALFITツーリズム」の展開による海外からの誘客促進に取り組んでいます。

皆様には、県内企業の海外展開に対し引き続きご支援をお願いいたします。



(セミコン台湾への出展)



(タイ国立ラチャウィティ病院での技術指導)

注目記事① 大分留学説明会 in 中国湖北省武漢 初開催!

大分県は、人口当たり留学生数全国第2位であり、留学生の生活支援や就職支援などに積極的に取り組んでいます。しかし、留学生に大分に来た理由を尋ねてみると、あまり積極的に大分を選んでいるわけではなく、「自然豊か」、「食べ物おいしい」、「物価も安く住みやすい」等、来県後初めて大分の魅力を感じていることがわかりました。

このようなことから、今年度初めて、留学先としての大分県の魅力を海外に積極的に発信するため、留学生支援に取り組む「大学コンソーシアムおおいた」並びに県内5大学の参加による「大分留学説明会」を開催しました。

第1回開催地は、中国湖北省武漢市。中国は、国別留学生数1位であり、湖北省政府とは、トップ交流や職員の相互派遣研修等により友好協力関係を築いています。今回の説明会は、省政府の支援を受け開催し、会場では、各大学のプレゼンテーションのあと、個別ブースでの相談会も行われ、多くの学生や保護者が参加しました。この説明会を契機に、多くの学生が大分へ留学してくれることを期待しています。

【国際政策課】



注目記事② 新おんせん県おおいたCMは「シンフロ」！



「シンフロ」篇



「ご当地サウンド」篇

第3弾となる「おんせん県おおいた」CM「シンフロ」が注目を集めています。大分各地の温泉で、プロのシンクロナイズドスイミングチームが踊る奇抜な内容で、華麗な動きと個性豊かな温泉地の組み合わせによって「おんせん県おおいた」をPRしています。

泳ぐのは、シドニー五輪銀メダリストの藤井来夏さんを中心とするプロのシンクロチーム。振り付けの中にも、とり天やからあげなどの大分名物を表すニワトリ、カボスやシイタケなどの特産品を表現する動きが組み込まれています。

「シンフロ」篇に加え公開された「ご当地サウンド」篇では、「シンフロ」篇のBGMとなったユニークな音楽の制作の裏側も公開されています。大分各地で収録された、“いろんな音”がBGMになっていく様子が楽しめます。

ユニークなおんせん県おおいたCMはインターネットで視聴できます。「日本一の温泉で、世界のみんなを沸かせたい。」世界への「おんせん県おおいた」PRにご協力ください！

[広報広聴課]

新CMの動画はこちら <http://onsenkenoita.com/>

注目記事③ ラグビーワールドカップイングランド大会を視察

ラグビーワールドカップイングランド大会の視察に行きました。

2019年に大分県でもラグビーワールドカップが開催されるわけですが、Host Cityとして取り組むべき課題を認識するため、県議会や経済界など40名で開催都市や試合会場などを訪れました。

まず始めに、日本代表と南アフリカが試合を行ったブライトン市を訪問しました。開催都市になっていることを内外にPRすることによって、観光客や、雇用が増加するとともに、スポーツイベントの運営能力を示すことができ、特に日本代表対南アフリカ戦でその効果が高まったとの話です。改めてPRの大切さがよくわかりました。

次に、トウィッケナムスタジアムで準々決勝のウェールズ対南アフリカを観戦しました。固唾をのむ接戦でスタジアム内は熱気につつまれ、大いに盛り上がりました。大分銀行ドームでは是非、こうした試合をやりたいと思いました。試合観戦の前に、公園内にあるファンゾーンを視察しました。チケットを持っている人、持っていない人、大人も子供も楽しめるよう、パブリックビューイング、コンサートのできる施設やアルコールを含む飲食の提供ブース、遊具、オフィシャルグッズショップ等があり、敷地内ではラグビーボールを蹴って遊ぶ人たちも見かけました。大分でも国内外のお客様に見て、食べて、楽しんでいただける大分らしさを演出したファンゾーンをつくる必要があります。

今回の視察を様々なことを学びました。2019年に大分県を世界にアピールできるように、今後4年間かけてしっかりと取り組んでまいります。

[国際スポーツ誘致・推進室]



↑ ブライトン市訪問



← ウェールズVS
南アフリカ戦



↑ ファンゾーン

注目記事④ ミラノ国際博覧会で「大分県デー」

10月16日から21日の6日間、国内で世界農業遺産に認定された5地域(石川県能登、静岡県掛川周辺、熊本県阿蘇、大分県国東半島宇佐、新潟県佐渡)が、ミラノ国際博覧会に共同で出展し、世界農業遺産とあわせ、各地域の魅力をPRしました。日本館2階イベント広場にて、日替わりで各地域の催しを行い、本県は20日に「大分県デー」として本県の魅力を伝える3つのステージイベントを実施しました。

まず、乾いたけやブリなど大分県の食材を使用した料理ショーとして、包丁さばきの説明やちらし寿司の盛り付け実演などを行い、来場者に椎茸のバター焼きや椎茸の出汁、ブリの煮付け、椎茸のちらし寿司などを振る舞いました。「椎茸の食感は非常にジューシー、出汁はとても香りがよい」などといった声が相次ぎました。

次に、本県を代表する伝統工芸品である竹細工の制作実演を行い、二人の職人が竹の花籠「四海波(しかいなみ)」を手際よく編み上げる姿に感嘆の声が上がりました。

あわせて、広瀬知事からは、世界農業遺産をはじめ、日本一の温泉や美味しい食べ物がある大分県の魅力を直接PRし、県議会議長や本県経済界代表の方と一緒に記念の竹鈴を来場者一人一人に手渡しました。

また、会場では、県産の麦焼酎やリキュールなどの試飲や七島イ加工品など県産品の展示を行うとともに、本県の森林づくりマスコットキャラクター「もりりん」が賑わいに華を添えました。

【農林水産企画課】 (来場者と記念撮影する「もりりん」)



(椎茸を使った料理ショー)



(竹細工制作実演)

注目記事⑤ 香港の「別府」8店舗で「大分フェア」開催中

10月31日～12月16日の期間、香港の和食チェーン「別府」にて「大分フェア」を開催します。期間中は、おおいた豊後牛、だんご汁、ブリ、ヒラマサなどの大分県産品特別メニューを展開します。そして、特別メニューをご注文いただいた人の中から抽選で旅行や景品をプレゼントするキャンペーンも実施。10月31日、11月1日に香港・將軍澳のショッピングモールにて開催されたオープニングセレモニーは、2日間を通して、県産品の販売や、観光PRが行われました。特に、大分県産のマグロ、ヒラマサの解体ショーでは、多くの人が足を止め、大盛況でした。

【国際政策課】



香港「別府」ホームページ <http://www.beppu.com.hk/>

【お知らせ】台湾で「おんせん県おおいた」PR番組を放送



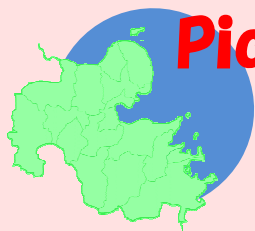
大分朝日放送は12月から台湾で「おんせん県おおいた」をPRした番組を放送します。番組名は「ONSEN Paradise Oh!TA」で、このほど総務省の海外展開モデル事業に採択されたものです。大分各地の温泉はもちろん、グルメ、アートなど今話題の大分を旅する番組です。また立命館アジア太平洋大学の台湾出身留学生も出演、留学生ならではの目線で大分の魅力を紹介します。ぜひご覧下さい！ 大分朝日放送 橋本英子

【台湾】民間全民電子公司(民視 FTV) (日曜日 AM10:30～11:00)
12月6日、12月13日、12月20日、12月27日、1月3日 (全5回)

*台湾放送回を大分でも放送します

【大分】OAB大分朝日放送 (土曜日 AM6:35～7:05)

11月7日、11月21日、11月28日、12月12日、12月19日 (全5回)



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事(10月)

News

【10月11日(日)】世界の優れた文化施設「OPAM」が最優秀

世界の優れた文化施設や最先端の取り組みを顕彰する「リーディング・カルチャー・ディスティネーションズ・アワーズ2015」で、4月に開館した大分県立美術館(OPAM)がアジア・太平洋部門の最優秀新設文化施設に選ばれました。この賞は、文化施設に光りを当て、文化と観光産業発展につなげることを目的に、展覧会プログラムや建築・空間デザインなどの観点で審査を行い、顕彰するものです。



News

【10月14日(水)】別府市民らフィジー文化を体験

フィジーの独立記念日(10月10日)を祝う会が11日、別府市で開催されました。在日フィジー人らでつくる九州フィジー会が、留学生の多い別府市で初めて開いたもので、当日は特別ゲストとしてインケリ・マタイト駐日大使も出席しました。イベントでは、木の根を乾燥させて粉状にした飲み物でもてなす伝統儀式や、フィジーのダンスや歌を披露し、参加者に手作りの蒸し料理も振る舞われました。



News

【10月24日(土)】福島・会津から豆田町へ、下駄が結ぶ絆

「天領日田はきもの史料館」が日田市豆田町にオープンしました。これは東日本大震災後、来館者数の激減により閉鎖した福島県の「桐の博物館」の展示品を引き継いだもので、資料館には、きりげたの産地として有名な会津地方のげた、草履の下に木の台を付けた格式高い「日光御免下駄」など多種多様な展示品が並びます。もともと下駄の産地として有名な日田に、下駄文化を紹介する施設ができたことで一層のPRが期待されます。



News

【10月29日(木)】“純杵築産”の養殖カキへの取り組み

県内最大の養殖カキ生産地である杵築市でカキが旬を迎えていますが、今年は少し様子が違います。例年、宮城県から購入した稚貝を育てている杵築市守江湾での養殖ですが、今年から同湾内で採取した稚貝を使った“純杵築産”のカキの水揚げも本格化しています。純杵築産と宮城の稚貝から育てたカキで見た目や味に違いはなく、今後、県漁協は10年後をめどに純杵築産を50%まで引き上げることを目指しています。



※国際政策課にて新聞等を元に作成



中国湖北省研修員による「私の大分☆見聞録」

中国湖北省から来県中の研修生が、大分県で体験した事柄をご紹介します。



氏名:陳瑾(チンキン)
所属:孝感市孝南区
外事僑務観光局

私は9月から2ヶ月間、研修でツーリズムおおいで観光業務を学んでいます。

10月14日に初めて湯布院に行き、ゆふいんラヂオ局でラジオの出演をしました。そこで私たちは大分県内の観光スポットを紹介しました。そして昼食に美味しいハンバーグを食べました。私はチーズハンバーグが大好きです！金鱗湖を見に行くと、湯布院の自然に触れました。その後、湯布院の町を散策しました。湯布院はとても綺麗です。旅行者も多く、にぎやかです。可愛いお店がたくさんあり、黒糖の揚げ饅頭も食べました。初めての湯布院とても楽しかったです。また是非行きたいです！



From our Reporters



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。

 <p>ミアム・スターリング (Miriam Starling) 県国際交流員 英国 pu101503@pref.oita.jp</p>	<p>ラグビーワールドカップイングランド大会訪問団の一員としてイギリスのロンドンに行きました。日本で開催予定のラグビーワールドカップ2019のための視察です。私の出身はロンドンなので、大分県の代表としてロンドンへ戻ることを誇りに思いました。ラグビー・クラブを見に行ったり、ラグビーに関する会社のプレゼンテーションを見たり、日本チームが泊まったブライトンにあるホテルに行ったりしました。一番印象に残ったのは、ウェールズ対南アフリカの試合を見に行ったことでした。イギリス人として、イギリスにあるウェールズのほうが勝って欲しかったですが、ウェールズが負けても、スタジアムと観客席の雰囲気は素晴らしかったし、世界中のラグビー・ファンと交流するのは楽しかったです。一生忘れない試合でした。4年後の大分県で開催するラグビー試合が同じような雰囲気があるように頑張ります。</p>	 
 <p>李 曉雪 (Li Xiaoxue) 県国際交流員 中国 pu101501@pref.oita.jp</p>	<p>10月3日から4日までの週末を利用して、大分県内の各大学に通っている留学生たちと吉四六さん村にやってきました。その留学生たちは韓国、中国、ブラジル、シンガポール、ベトナム、タイなどの国から来ていて、大分県の伝統的な田舎生活に好奇心が満ち溢れています。それで、1泊2日の短い農泊のホームステイを体験しました。 自分は初めての農泊で、「どんな方かなあ・・・」と少しドキドキしながら、この温かみのあるお家に入って、なによりもお父さんやお母さんの優しい笑顔が不安を解消してくれました。お母さんの真心のこもった食事は、本当に美味しくいただきました。山と田んぼに囲まれた自然がいっぱいで、大家族が集まり、住んでいるこの家を見て、とても幸せそうに見えました。ご家族、ますますお元気で幸せでありますようお祈りいたします。</p>	
 <p>金 眞雅 (Kin Jina) 県国際交流員 韓国 pu101502@pref.oita.jp</p>	<p>秋晴れが続いた週末に大分市内のあちこちでは様々なジャンルの演奏が繰り広げられていました。散歩をしていた私は音楽が聞こえてくるところに足を運んでみました。そこでは、バンドのライブが行われ、たくさんの方が足を止めてそのライブを聴いていました。 このイベントは今年で8回目を迎えた「おおいた夢色音楽祭」で、大分市が日本における西洋音楽発祥の地であることに根ざし、音楽のまちの実現を目的として、2008年に誕生した音楽祭だそうです。大分駅周辺、商店街、若草公園、トキハの前などに設置された35ヶ所のステージでフォーク、ポップス、ジャズなどの公演が通行人を魅了していました。 この日は天気も良く、どこの街へ行っても音楽があふれていて幸せな気持ちになりました。</p>	
 <p>シェリダン・ミキシック (Sheridan McKisick) 県国際交流員 米国 pu1014001@pref.oita.jp</p>	<p>大分魅力体感ツアーを通して、白杵にホームステイをしました。ホームステイの時に、様々な活動を経験しました。例えば、写真のような、楽しい手芸するチャンスがありました。裁縫をしたことがあまりないから、針に糸を通せなくて、難しかったです。でも、ホストファミリーのおかげで、かわいいものが作られました。 手芸の他にも、おいしい料理をたくさん作りました。伝統的な大分料理のだんご汁を作って、簡単なサツマイモのデザートも作って、おなががいっぱいになるまで様々なおいしいものを食べました。そうして、ホストファミリーと一緒に枝豆を収穫しました。自分で収穫するものを食べる気持ちは一番いいと思います。 このホームステイをしたから、手芸や料理がレベルアップしました。</p>	



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【豊後高田市／杵築市】



(豊後高田市)
「熊野磨崖仏」
険しい石段の先にある
不明明王像と大日如来像



(豊後高田市)
「長崎島リゾートキャンプ場」
春は菜の花、夏はひまわりが
一面に広がる



(杵築市)
「白鹿田原神社」
毎年10月に行われる
「どぶろく祭り」が有名



(杵築市)
「ひいなめぐり」
旧杵築藩主が所蔵していた
貴重なお雛様も展示される



話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください! (様式は任意です)

【記事提供先/お問い合わせ先】
国際政策課 担当:平山(ひらやま)
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

